

はじめに

皆さん、こんにちは。河西仁です。

このテキストを手にとられた方の中には、プレスリリースを書きたいけれど、その書き方(プレスリリース・ライティング)がよくわからない、と悩んでいる方がいらっしゃると思います。

しかし、ご心配は無用です。

プレスリリースに限らず、何かを作る作業には一定のルールや仕組みがあります。そのルールや仕組みを理解し、実践を通して経験を重ねることによって、誰でもプレスリリース・ライティング自体がご自分のものなっていくのを実感すると思います。

私はメーカーで10年、独立して15年の計25年間で約1,300本のプレスリリースを作成しました。1,000本以上プレスリリース・ライティングを続けた結果、プレスリリース作成作業は車の運転やPCのキータッチ(ブラインドタッチ)と同じ感覚で行われていると気づきました。

経験豊かな大工は木材を見ただけで、どこにのこぎりの刃を入れたら良いか、また腕の立つ調理師は素材を見てどこに包丁を入れたら良いか、すぐに分かると言いますが、一定以上の作業量をこなすと人間は体で作業を覚えてしまうものなのかもしれません。

プレスリリース・ライティングもそれと同じ、「繰り返し」を通して学ぶ一種の専門作業です。

このテキストでは、広報PR業務における「プレスリリースの位置づけ・目的」、「プレスリリースの作成」、「プレスリリースの本質」について解説します。

このテキストがプレスリリース・ライティングに対する皆さんの悩みや疑問を解消し、お役に立てば幸いです。

「効果的なプレスリリース・ライティング」

目次

「プレスリリースについて」

プレスリリースとは何か

PR 業務の中でのプレスリリースの位置づけ

プレスリリースの果たす目的

メディアにとってプレスリリースとは

プレスリリースで何ができる

機能するプレスリリース、機能しないプレスリリース

本社の原文をどのように日本語化するか

PR と広告宣伝の違い：プレスリリースとの関係

プレスリリースとニュースリリース

「プレスリリースの作成」

プレスリリースの構成① 情報の逆三角形

プレスリリースの構成② 5W2H

プレスリリースの構成③ タイトル、本文、補足、ボイラープレート、問合せ

プレスリリースの構成④ 補足情報、Web との連携

プレスリリースの構成⑤ プレスリリースの再利用

プレスリリースの構成⑥ 一つのネタのライフサイクル

プレスリリースの構成⑦ プレスルームの再利用

プレスリリースの構成⑧ 配信から掲載まで

プレスリリースの構成⑨ プレスリリースの効果測定

「プレスリリースの本質」

PR 担当者にとってプレスリリースとは

プレスリリースの達人になるために

PR 業務を行なう上で必要なこと

著者ご紹介

日本パブリックリレーションズ協会認定 PR プランナー (登録番号: 第 00279 号)

外資系メーカー(アプライド マテリアルズ、シリコン・グラフィックス)で 10 年間、国内広報宣伝部門責任者を経て、1998 年 8 月より PR コンサルタントとして独立。以来、延べ 150 社以上の外資系エレクトロニクス企業をはじめ、IT ベンチャー、国内上場企業各社の広報 PR 業務の企画実践に関するコンサルティング業務を行っています。

クライアント向けのプロフェッショナル・サービスを提供するほか、PR 業務に関するセミナー講師や、PR 担当者(パブリスト) 向けの教育ツールの開発と提供を行っています。PR トレーニング実施は 1998 年の独立以降、延べ 300 回を数えます。

プレスリリース作成は、企業に在籍していた 1989 年から通算 1,000 本を超えました(2013 年 11 月 1 日現在 1,389 本)。

2008 年から 2012 年まで、3D/組込みグラフィックスの業界標準 API 仕様の策定を行う非営利業界団体 The Khronos Group の日本代表(Director of Japan Operations)兼 PR マネージャとして、同グループの国内広報業務および国内会員企業サポート活動の責任者を務めました。

ミアキス・アソシエイツについて

ミアキス・アソシエイツは、プレスリリース作成代行、校正、配信代行、記事掲載調査など、企業の広報業務を支援するサービスを提供しています。新製品発表から、新会社設立、展示会出展など企業広報についてサポートが必要なとき、ミアキスにご連絡ください。

- この Eブックに組み込まれた URL は編集時点のものであり、変更または削除されている可能性があります。
- 本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部または全部について、ミアキス・アソシエイツ合資会社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製・複製することは禁じられています。
- 本書の内容及び PDF 不具合に関するお問い合わせ先:ミアキス・アソシエイツ合資会社 河西仁 kasai@miacis.com
<http://www.miacis.com> からお問い合わせフォーム

発行・販売 ミアキス・アソシエイツ合資会社 ©2013 ミアキス・アソシエイツ